2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年７月25日

上場会社名	ブルドックソース株式会社	上場取引所	東
コード番号	2804	URL	https://www.bulldog.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役 社長執行役員	(氏名)	石垣 幸俊
問合せ先責任者	(役職名) 取締役 専務執行役員 経営企画室長	(氏名)	佐伯 舞　(TEL) 03(3668)6821
配当支払開始予定日	―		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

(百万円未満切捨て)

１．2026年３月期第１四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	3,695	1.7	125	―	418	―	1,765	―
2025年３月期第１四半期	3,632	0.2	△103	―	12	△96.2	13	△90.0

(注)包括利益　2026年３月期第１四半期　2,168百万円(　　－%)　2025年３月期第１四半期　63百万円(△89.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	135.31	―
2025年３月期第１四半期	1.02	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年３月期第１四半期	34,375	23,160	67.4	1,781.44
2025年３月期	32,474	21,445	66.0	1,634.01

(参考) 自己資本 2026年３月期第１四半期　23,160百万円　　2025年３月期　21,445百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	―	17.00	―	18.00	35.00
2026年３月期	―				
2026年３月期(予想)		20.00	―	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

(注) 2026年３月期（予想）年間配当金の内訳　　普通配当　　40円00銭　　特別配当　　5円00銭

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	4.7	500	124.1	1,200	38.8	2,200	252.7	168.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

(注)詳細は、添付資料８ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	13,954,880株	2025年３月期	13,954,880株
②　期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	954,062株	2025年３月期	830,608株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	13,044,685株	2025年３月期１Ｑ	13,356,026株

※当社は、「役員報酬ＢＩＰ信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料３ページを参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（その他の事項） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間(2025年４月１日～2025年６月30日)は、景気は緩やかな回復傾向にあるものの、金利上昇のリスクに加え不安定な国際状況が続き、世界的な資源価格の高騰や円安による更なる物価上昇懸念から、消費者の日用品・食品への節約志向は依然として継続しました。一方で、インバウンドの人流増加等により外食市場は引き続き伸長傾向となりました。

このような状況の中、当社グループは第11次中期経営計画「B-Challenge2025」の最終年度を迎え、新たな成長に向け掲げている基本戦略、国内戦略・海外戦略・バリューチェーン（ＶＣ）戦略の３テーマ達成に向けて取り組んでまいりました。国内戦略では、グループ各社のブランドの強みを活用し東日本、西日本それぞれのエリアごとに販売活動を進めております。海外戦略では、北米を中心に輸出における販売促進活動を活発化し、新規ルートの獲得などを進めております。ＶＣ戦略では成長にむけて各施策を進めており、2024年７月に開示しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の方針に基づき、旧鳩ケ谷工場跡地を売却し、2025年５月に引渡しを完了いたしました。また、政策保有株式の売却や自己株式取得を積極的に進めております。

(国内)

「家庭用ソース」は、主力商品である「ウスター、中濃、とんかつソース」の販売がふるわず、前年同期比0.7%減の20億１百万円となりました。

「業務用ソース」は、インバウンドの増加で好調な外食市場を中心に売上が拡大し、前年同期比11.4%増の10億６千８百万円となりました。

「家庭用（ソース以外）ドレッシング・たれ等」では、「＆ブルドックドレッシング」は配荷店舗の順調な増加により好調に推移しましたが、「野菜のドレス」は販売戦略変更に伴い販売店舗が縮小し、売上高は前年同期比14.6%減の３億６百万円となりました。

「家庭用（ソース以外）その他」の売上高は、前年同期比1.1%減の１億３千８百万円となりました。

(海外)

「輸出」は、北米を中心とする現地での積極的なマーケティング活動が実を結び、米国、アジアを中心に売上が拡大し、前年同期比9.8%増の１億４千４百万円となりました。

「現地法人（上海）」は、新規顧客へのアプローチやスピーディな商品提案の効果が表れ、売上高は前年同期比25.6%増の３千５百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比1.7%増の36億９千５百万円となりました。当連結会計年度は、ＴＡＴＥＢＡＹＡＳＨＩクリエイションセンター（ＴＣＣ）の本格稼働から1年余り経ち、生産性が向上しております。前連結会計年度の立上げ時に要した外部倉庫費用、時間外労務費を削減すると共に、前連結会計年度に実施した販売戦略の変更等により収益性が改善し、営業利益は１億２千５百万円となりました。経常利益は投資有価証券売却益などにより４億１千８百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は旧鳩ケ谷工場跡地譲渡に伴う固定資産売却益を計上し17億６千５百万円となりました。

第２四半期以降は、「家庭用ソース」の売上拡大策として、2025年８月には家庭内の食シーンを豊かにする「ブルドック うまソース」「ブルドック ごまとんかつソース チューブ 300g」などをリニューアルすると共に、「うまソース 旨塩」、「麻辣トッポギセット」などの多様な新商品の市場投入を進めてまいります。また、「業務用ソース」におきましても、飲食業界の人手不足に対応した卓上ソース「ブルドック テーブルソース ウスター 300ml」を発売し、伸長傾向の外食店市場における売上獲得をめざします。また継続して実施しておりますソースの使用量拡大プロモーションを更に強化してまいります。また、当連結会計年度の重要な取組みとして、グループ全体で生産性向上をめざし、効率的な原料調達及び生産を推進してまいります。

（２）財政状態に関する説明

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億１百万円増加し、343億７千５百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18億７千１百万円増加し、100億２千４百万円となりました。主な増加は現金及び預金15億７千６百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて３千万円増加し、243億５千１百万円となりました。主な増加は投資有価証券５億５千３百万円、主な減少は有形固定資産５億１千３百万円であります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べて１億８千６百万円増加し、112億１千５百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて１億３千１百万円増加し、48億２千１百万円となりました。主な増加は未払法人税等６億６千２百万円、主な減少は未払金２億２百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて５千５百万円増加し、63億９千４百万円となりました。主な増加は繰延税金負債１億８千万円、主な減少は長期借入金１億５千２百万円であります。

③純資産の部

純資産合計は前連結会計年度末に比べて、17億１千４百万円増加し、231億６千万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益17億６千５百万円の計上であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461	4,038
売掛金	4,382	4,364
商品及び製品	836	885
原材料及び貯蔵品	182	202
仕掛品	18	33
その他	271	499
流動資産合計	8,153	10,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,872	6,782
機械装置及び運搬具（純額）	4,086	3,921
土地	2,784	2,534
その他（純額）	243	234
有形固定資産合計	13,987	13,473
無形固定資産	178	164
投資その他の資産		
投資有価証券	9,475	10,029
繰延税金資産	82	81
その他	604	611
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	10,154	10,713
固定資産合計	24,320	24,351
資産合計	32,474	34,375

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2025年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,591	1,629
電子記録債務	211	229
短期借入金	230	230
1年内返済予定の長期借入金	615	614
未払法人税等	135	798
未払金	230	27
未払費用	1,126	1,026
賞与引当金	159	84
その他	389	180
流動負債合計	4,689	4,821
固定負債		
長期借入金	4,035	3,882
繰延税金負債	1,476	1,657
退職給付に係る負債	739	758
役員株式給付引当金	31	31
執行役員退職慰労引当金	25	28
長期未払金	14	14
その他	17	21
固定負債合計	6,339	6,394
負債合計	11,029	11,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	15,275	16,801
自己株式	△1,210	△1,424
株主資本合計	17,674	18,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,706	4,113
為替換算調整勘定	25	23
退職給付に係る調整累計額	38	36
その他の包括利益累計額合計	3,770	4,174
純資産合計	21,445	23,160
負債純資産合計	32,474	34,375

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）
売上高	3,632	3,695
売上原価	2,644	2,518
売上総利益	987	1,176
販売費及び一般管理費	1,090	1,051
営業利益又は営業損失（△）	△103	125
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	125	141
投資有価証券売却益	0	167
受取保険金	1	－
その他	1	1
営業外収益合計	128	310
営業外費用		
支払利息	11	16
支払手数料	－	1
為替差損	2	－
その他	0	0
営業外費用合計	13	17
経常利益	12	418
特別利益		
固定資産売却益	－	2,150
その他	－	2
特別利益合計	－	2,153
特別損失		
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	－	0
税金等調整前四半期純利益	12	2,571
法人税等	△1	806
四半期純利益	13	1,765
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	13	1,765

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2024年４月１日 至 2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）
四半期純利益	13	1,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	407
為替換算調整勘定	3	△1
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	49	403
四半期包括利益	63	2,168
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	63	2,168
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソース類の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2024年４月１日 至　2024年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)
減価償却費	283百万円	285百万円

(その他の事項)

(追加情報)

自己株式の取得及び消却

当社は、2025年５月15日開催の取締役会において、会社法第459条第１項及び当社定款第32条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の一部を消却することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得及び消却を行う理由

資本効率の向上及び株主還元の拡充のため自己株式の取得を行うとともに、将来の株式の希薄化懸念を払拭するため、取得した全株式の消却を行います。

(2) 取得に係る事項の内容

① 取得対象株式の種類	当社普通株式
② 取得し得る株式の総数	240,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.8%）
③ 株式の取得価額の総額	４億円（上限）
④ 取得期間	2025年11月４日～2026年３月５日（予定）
⑤ 取得方法	東京証券取引所における市場買付

(3) 消却に係る事項の内容

① 消却する株式の種類	当社普通株式
② 消却する株式の数	(2)に基づき取得する自己株式の全株式数
③ 消却予定日	2026年３月13日

(注)消却する自己株式の数は、(2)による自己株式の取得完了後、改めてお知らせいたします。